

C 標 識 放 流 関 係

I 調 査 目 的

本州日本海側へ回帰来遊するサケ稚魚の経路及び系統群を明らかにし将来のサケ、資源増大への基礎資料をうる。

II 調 査 内 容

1. 放流時期 昭和49年11月24日
2. 放流地点 深 浦
3. 調 査 員 次長 頼 茂
技師 田 村 真 通
" 原 口 健 二
4. 調査項目
 - 1) 再 捕 率
 - 2) 系統群について
 - 3) 来遊親魚の生態について

III 調 査 方 法

深浦地先の定置網に乗網サケ親魚 100 尾を買上げ背鰭基部にボタン付背骨型ビニールタグ（赤色）を結着し沖合へ放流した。

IV 調 査 結 果

- 1) 再捕状況は第 3 図に示すとおりで、再捕率は第 3 表のとおり45%を示し過去 4 ケ年のうち最も低かった。又再捕までの日数は 2～17日間で昭和47年の盛漁期（11月26日～30日）に放流したものに近い日数である。
- 2) この時期に本県日本海側を南下するアキサケの主群は河川内再捕状況及び過去のデーターからみても月光川（山形県）水系のものと推定される。
- 3) 放流魚は♀42尾♂58尾で尾又長は 54.8～ 82.5cmの範囲にあって♀は大型で範囲が狭く♂のそれが広いのは昭和48年と畧々同じ傾向である。年令組成を第 4 表に示したが 3 年魚と 4 年魚で80%を占めており、昭和46年のそれに類似している。

放流したサケの遊泳速度30km/day～40km/dayで中に70km/dayの個体もあった。

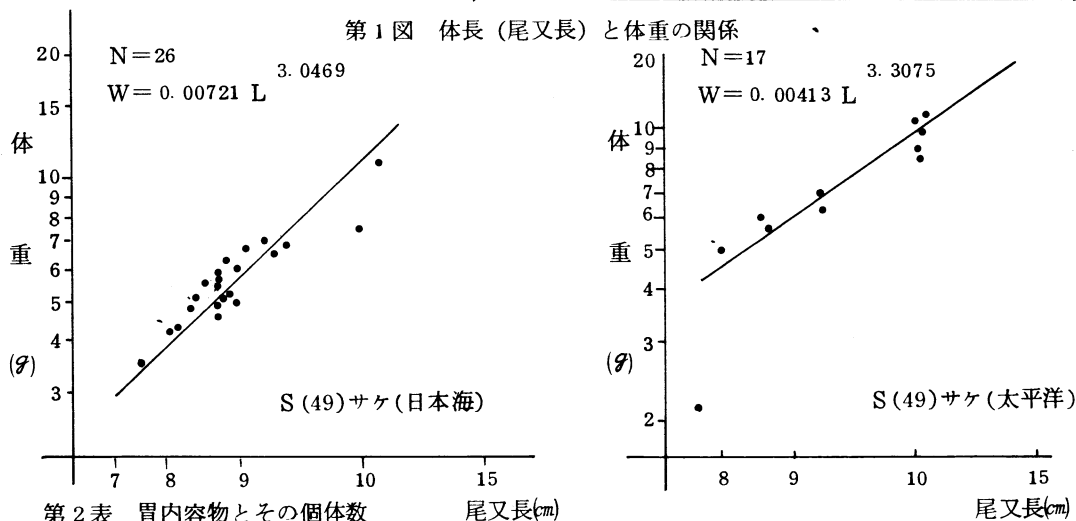
- 4) 北海道の庶野及び猿払から放流されたサケが本県日本海及び太平洋側で再捕された結果は第 4 図に示すとおりであるが日本海側へは北海道西海岸を南下するものと津軽海峡を経て日本海へ南下する 2つの群があることが再確認された。

V 今 後 の 問 題 点

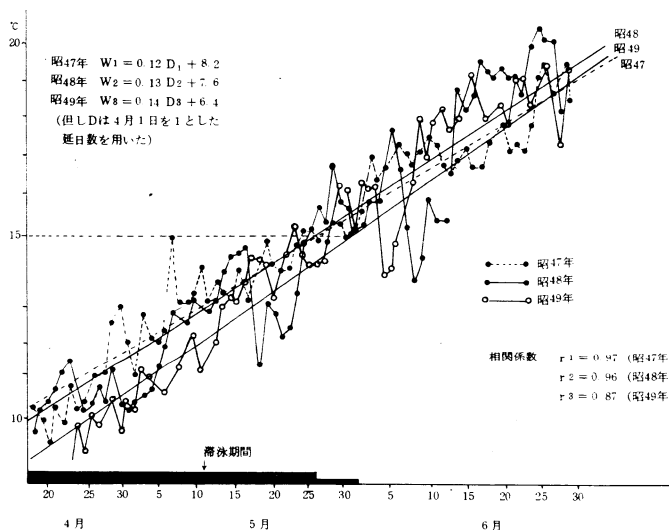
- 1) 新潟、富山の両県に回帰するサケの経路及び時期を明らかにするためには本県から早期放流を試みる必要がある。
- 2) サケ資源に関して北海道と本州との関連を更に明らかにするため綿密な連繫の上での標識放流を継続する必要がある。
- 3) 各県関連ある調査研究であることの認識の上に立って当該漁民の啓蒙と協力を得るような努力が必要である。
- 4) 深浦地先から、実施した標識放流魚の再捕が最も多いことから男鹿半島（秋田県）の尖端から、の放流を試みることも一法であろう。

第1表 さけ稚魚測定表

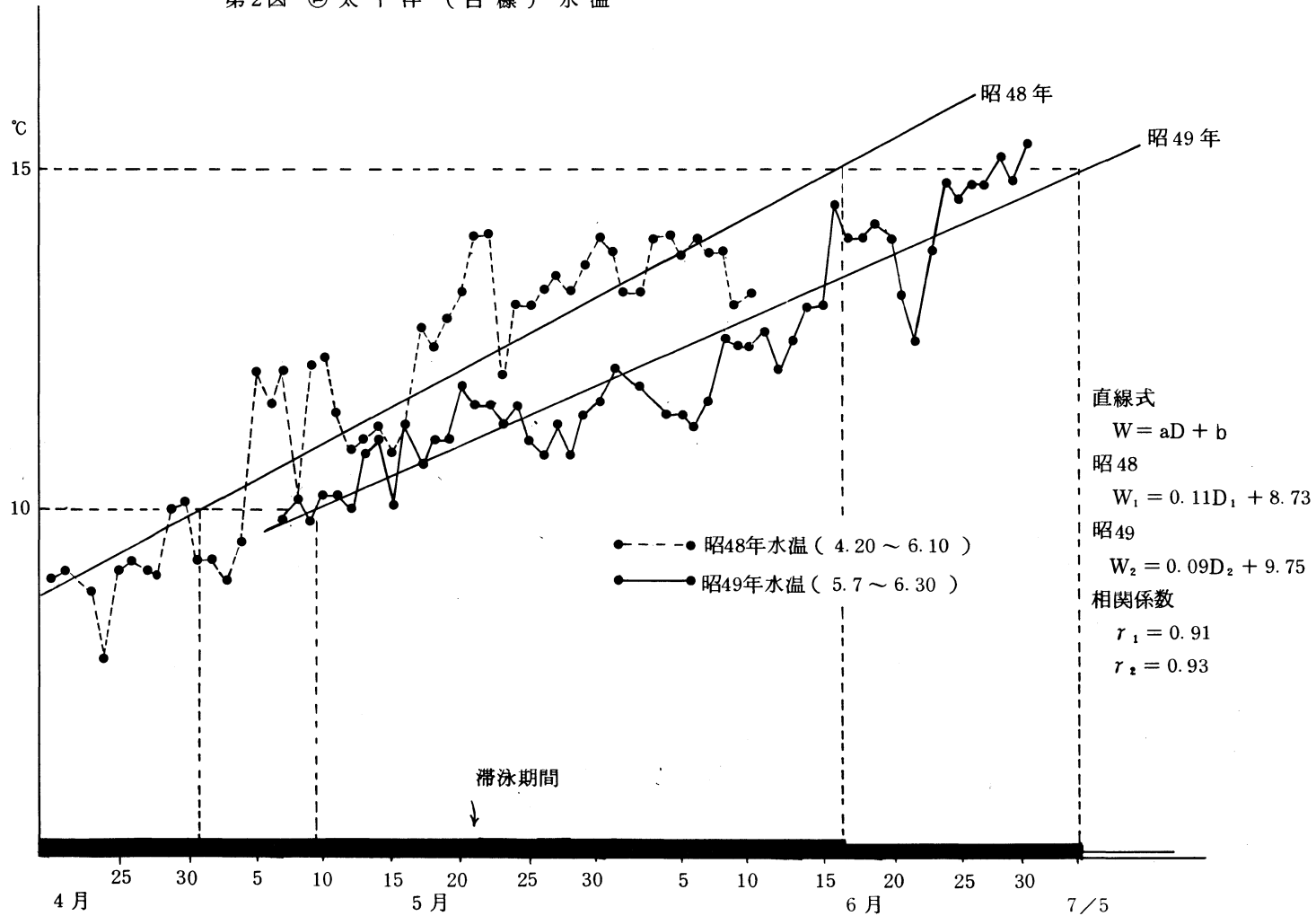
採捕年月日	標本数	体長範囲	平均体長	体重範囲	平均体重	備考
49. 5. 1	2尾	7.7 ~ 8.0 cm	7.8 cm	4.3 ~ 4.6 g	4.5 g	日本海
5. 10	2尾	8.3 ~ 8.7	8.5	6.8 ~ 7.0	6.9	
5. 12	22尾	7.0 ~ 10.1	8.1	3.3 ~ 10.8	5.6	
5. 19	1尾	7.9	(7.9)	5.3	(5.3)	太平洋
6. 1	15尾	4.1 ~ 10.6	8.8	0.6 ~ 13.3	8.0	
6. 25	1尾	10.4	(10.4)	11.3	(11.3)	



第2図④ 日本海(鯔ヶ沢)水温



第2図 ㊸ 太平洋（白糠）水温



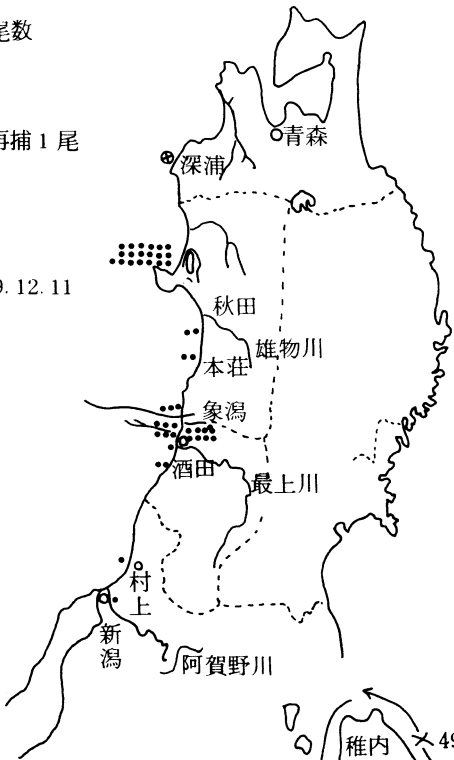
第3図 再捕地点および再捕尾数

⊗放流地点
・点につき再捕1尾

放流月日 49.11.24
放流尾数 100尾
再捕期間 49.11.26～49.12.11
再捕尾数 45尾
内 訳 { 沿岸 36尾
 河川内 9尾
再捕率 45%

県名	再捕尾数
秋田	26尾
山形	17(8)
新潟	2(1)
計	45(9)

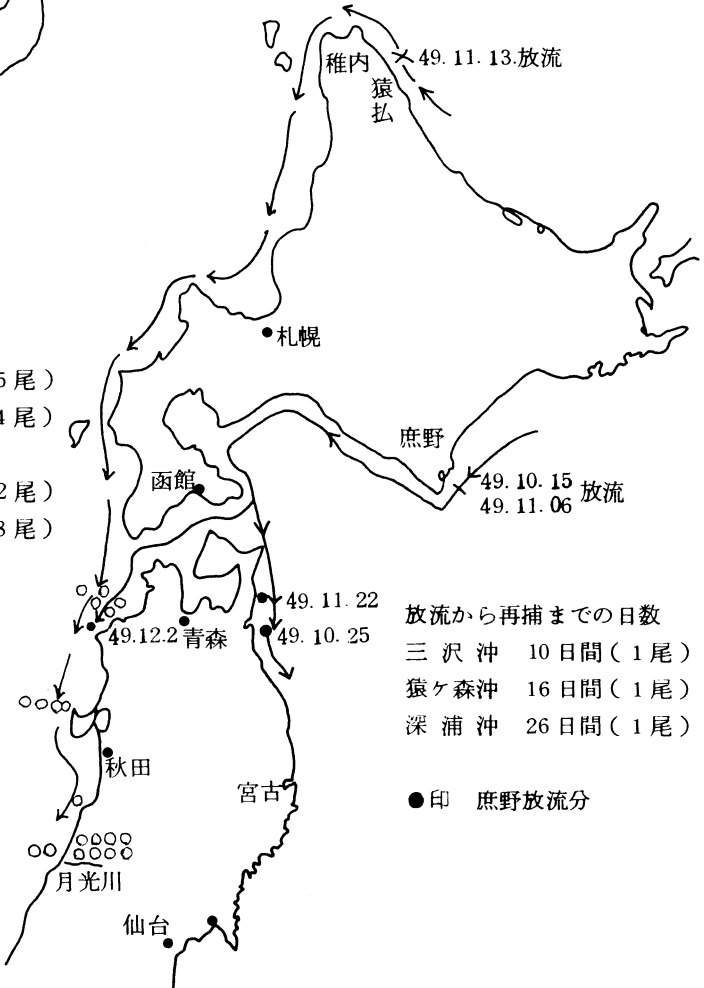
()内は河川内の再捕数



第4図

放流から再捕までの日数
深 浦 19～26日間(5尾)
男 鹿 17～27日間(4尾)
象 潟 27日間(1尾)
吹 浦 31～32日間(2尾)
月光川 32～47日間(8尾)

○印 猿払放流分



放流から再捕までの日数
三 沢 沖 10日間(1尾)
猿ヶ森沖 16日間(1尾)
深 浦 沖 26日間(1尾)

●印 鹿野放流分

第3表 サケ親魚標識放流結果一覧表（S 46～49）

区分	年 度	放流時期	放流尾数	再 捕 数 (再捕率)	再 捕 期 間	男鹿半島地先における再捕率	河川再捕数
日 本 海	4 6 (初)	11. 2 ～ 11. 20	130 尾	79 尾 (60. 8 %)	11. 4 ～ 12. 13 (42 日間)	34. 2 % (27 尾)	4 尾
	4 7 (盛)	11. 26 ～ 11. 30	150 尾	91 尾 (60. 7 %)	11. 27 ～ 12. 17 (22 日間)	25. 3 % (23 尾)	20 尾
	4 8 (終)	12. 12	90 尾	54 尾 (60. 0 %)	12. 14 ～ 12. 22 (11 日間)	62. 9 % (34 尾)	8 尾
	4 9 (盛)	11. 24	100 尾	45 尾 (45. 0 %)	11. 26 ～ 12. 11 (17 日間)	42. 2 % (19 尾)	9 尾

第4表 放流サケ親魚の年令組成

年令 年度	3 年 魚	4 年 魚	5 年 魚	6 年 魚	7 年 魚	不 明	計	備 考
昭 4 6	31. 5 % 41 尾	38. 5 % 50 尾	25. 4 % 33 尾	1. 5 % 2 尾	0 % 0 尾	3. 1 % 4 尾	100 % 130 尾	日 本 海
4 7	8. 0 12	76. 7 115	7. 3 11	3. 3 5	2. 7 4	2. 0 3	100 % 150 尾	〃
4 8	12. 6 11	52. 8 46	21. 8 19	11. 5 10	1. 1 1	0 0	100 % 87 尾	〃
4 9	35. 0 35	45. 0 45	15. 0 15	2. 0 2	0 0	3. 0 3	100 % 100 尾	〃
放流時期 県内再捕尾数								
昭 46 11. 2 ～ 11. 20 (初漁期)					7 尾			
昭 47 11. 26 ～ 11. 30 (盛 〃)					5 尾			
昭 48 12. 12 (終 〃)					7 尾			
昭 49 11. 24 (盛 〃)					0 尾			